

製品名: p14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15571**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	CDKN2A
別名	CDKN2A; CDKN2; MLM; Cyclin-dependent kinase inhibitor 2A; isoform 4; p14ARF; p19ARF
遺伝子 ID	1029.0
SwissProt ID	Q8N726
免疫原	抗血清はヒト p14 ARF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

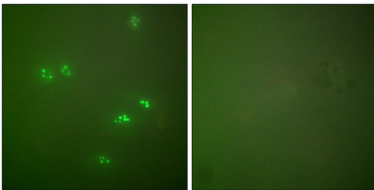
CDKN2A は、最初のエクソンが異なる複数の転写バリエーションを生成する。異なるタンパク質をコードする選択的スプライシングバリエーションが少なくとも 3 つ報告されており、そのうち 2 つは CDK4 キナーゼの阻害剤として機能することが知られている構造的に類似

したアイソフォームをコードする。残りの転写産物には、遺伝子の残りの部分から 20Kb 上流に位置する代替の第一エクソンが含まれる。この転写産物は、他のバリエーションの産物とは構造的に無関係なタンパク質を特定する代替オープンリーディングフレーム (ARF) を含む。この ARF 産物は、p53 の分解に関与するタンパク質である E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ MDM2 と相互作用し、これを隔離することができるため、腫瘍抑制タンパク質 p53 の安定化因子として機能する。構造的および機能的な違いがあるにもかかわらず、CDK 阻害アイソフォームと CDKN2A によってコードされる ARF 産物は、細胞周期 G1 の進行における CDK4 と p53 の制御的役割を通じて、細胞周期 G1 の制御において共通の機能を共有している。CDKN2A はさまざまな腫瘍で頻繁に変異または欠失しており、重要な腫瘍抑制遺伝子であることが知られています。

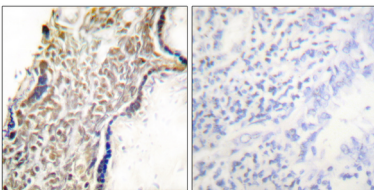
研究分野

幹細胞経路; 細胞周期

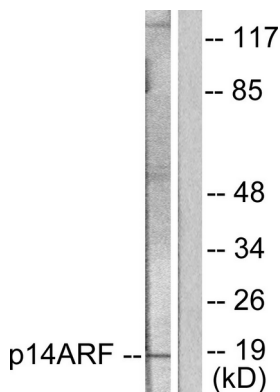
画像データ



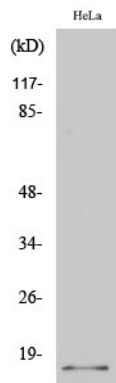
p14 ARF 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



p14 ARF 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



p14 ARF 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した p14 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析